



# 蓮池の夢通信

創刊号

平成20年3月25日

宇都宮城跡蓮池再生検討委員会

<http://park.geocities.jp/hasuikesaisei>

\*\*\*\* 夢を求めて \*\*\*\*

会長 石川 速 夫

夢の蓮の実を求めての私たちに活動も、はや2年を経過しました。多くの皆様のご支援を得て、蓮寺めぐりを兼ねての史跡探訪、城跡復元地図や蓮の写真カレンダーの刊行、講演会などのPR活動とともに、蓮池跡のボーリング調査と土砂の顕微鏡分析を行い、蓮の花粉の検出に成功しました。権力も資金もない市民活動ながら、ここまで漕ぎつけたのは会員や地域の皆様の御支援のお陰です。今後とも夢の実現にご協力をお願いします。



写真 1 佐藤市長へ提言書を提出する石川会長



写真 2 大賀ハスの保存について講演する阪本先生



写真 3 初めて開催されたシンポジウム



写真 5 花粉の検出を講演する松居教授

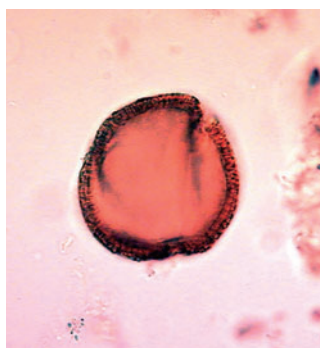


写真 4 検出された蓮の花粉



写真 6 初めて作成した蓮ごよみ



写真 7 関係業会との工法協議

## 発起人から一言

### ・ 冨 祐次

宇都宮城をめぐる濠の一部には蓮を植えた蓮池の存在が知られている。季節には大きな蓮の葉の中から清々しい花が開き、風にそよぐ姿が辺りの櫓や白い堀に映えている情景が浮かんで来る。この夢が早急に具現化することを切望して止まない。

### ・ 志賀 かう子

念ずれば花ひらく。そう信じましょう、みな様！念ずるからにはよきことを、美しきことを念じたいではありませんか。しかも「根も葉もない」ことではありません。400年の昔、宇都宮城のお堀に確実に咲いていた蓮の気高さを、ふたたび咲かせようとのまことに純粋な祈りなのです。荒廃した世の中だからこそ、泥沼からすくくと立ちあがって、かくも清らかに咲く花を、仰ぎたいではありませんか。

## 応援メッセージ

### ・ 宇都宮市本丸町 高橋巖雄（自治会長）さん

極めて地味な事を淡々と続ける皆様方に心から敬意を表する次第であります。地元本丸の上蓮池底から宇都宮城の史実に忠実に見事な蓮を再生し、復元された宇都宮城に自然の大切な大輪の花を咲かせて下さい。継続は力です！楽しみに待ち続けたいと思いますので、是非がんばって下さい。

### ・ 千葉市 大賀義彦 さん

宇都宮城跡の蓮池発掘計画は、千葉市検見川の2000年蓮の発掘より50年以上経っており、昭和26年の発掘当時を思い出すと、私は高校2年生で、伯父（大賀一郎）は府中市に住んでおり、現在私が住んでいる場所に小屋を作り、此处を基点として現地と往復しておりました。何度も呼び出されては、花園中学の生徒に混じって泥まみれで手伝い、もうこれ以上出ないので止めようかといった時に、とうとう出てきた時の感激は忘れられません。宇都宮の発掘計画は、400年前の種を発掘し花を咲かせようとする夢であり、此处という場所を決め、地層の深さを確定し、科学的な方法で進められる事を願っております。

### ・ 御坊市 阪本尚夫（和歌山県大賀ハス保存会）さん

一昨年の秋に宇都宮にお招きいただいた際に整備途中の宇都宮城跡を見てまわりましたが、ほぼ復元を終えてそびえ立つ白亜の櫓が非常に眩しく私の目に映りました。そこではじめて宇都宮城跡蓮池再生検討委員会の方々の郷土への熱い思いが理解できたように思えます。願わくは堀跡深くに眠るハスの実の発掘が成功裏に終わり、これを機にハスが宇都宮の誇りの一つに加えられることを願っています。

### ・ さいたま市 後藤妙子 さん

「栃木花蓮写真展」が、「蓮寺と文化財めぐり」に発展し、「宇都宮城蓮池再生検討委員会」設立にまで漕ぎつけるとは誰が想像したのでしょうか？宇都宮市民の夢ばかりではなく、平成の大賀蓮を連想させる活動に県外の私でさえ、大きなロマンを感じております。

### ・ 八王子市 阿川トミ子 さん

平成16年の秋に宇都宮市を訪れた折に宇都宮城復元構想の存在を知りました。特に城跡に咲いたであろう蓮池の蓮の花に強い関心を持っております。この素晴らしいロマンの種を一粒でも発掘して平成の宝物にして欲しいと願います。同県人の私は以前下野新聞社読者室に発掘作業を早急に願う投稿の経験があります。約400年前の実の出現を求める熱き蓮池再生の御活動に注目しております。

### ・ 宇都宮市大谷町 三木弘子 さん

まだ小学生だった私はニュース映画で観た古代蓮の種の発掘に驚かされ、その種から芽が出、なんと花が咲いたのには、大いなる感動でした。そんな話がこの宇都宮で起きることなど、ついぞ考えてもみないことでした。久遠の彼方へと誘ってくれる「うすくれない」の気高き花が、風そよぐ初夏の宇都宮城のお堀りに咲乱れる様を、早くこの眼にしたいものです。

## 活動経過と今後の予定

※下記写真のNo.は表紙と整合しています。

平成 18 年 2 月：9 名の発起人により宇都宮城蓮池再生検討委員会を設立する。

平成 18 年 3 月：蓮池再生について宇都宮市長・市議会議長へ提言書・要望書を提出する。

写真 - 1

平成 18 年 5 月：平成 18 年度宇都宮市市民活動助成団体（スタート支援）となる。

平成 18 年 7 月：「第 2 回蓮寺と文化財めぐり」への協賛。

平成 18 年 9 月：「宇都宮城想定図」を作成し頒布する。

平成 18 年 11 月：「第 4 回栃木花蓮写真展」の後援と「蓮池再生講演会」の開催。

写真 - 2

平成 19 年 3 月：上蓮池地内において公開のボーリング調査に併せシンポジウムの開催。

写真 - 3

平成 19 年 5 月：平成 19 年度宇都宮市市民活動助成団体（ステップアップ支援）となる。

平成 19 年 7 月：「第 3 回蓮寺と文化財めぐり」に併せた総会で蓮の花粉検出の報告。

写真 - 4

平成 19 年 10 月：「第 5 回栃木花蓮写真展」の後援と「第 2 回蓮池再生講演会」の開催。

写真 - 5

平成 19 年 10 月：「第 18 回コメリ緑資金」に応募するが、不採用となる。

平成 19 年 11 月：「蓮ごよみ」の作成及び頒布。

写真 - 6

平成 19 年 12 月：市議会 12 月定例会で蓮池再生の質問をするが満足な回答に至らない。

平成 20 年 1 月：「大賀ハスの今 2008」の 2008 まちおこしプロジェクトで紹介される。

平成 20 年 2 月：宇都宮建設業青年の会・栃木県地質業協会・補償コンサルタント協会と協議

写真 - 7

平成 20 年 3 月：東京電力宇都宮支社・関電工栃木支店と協議、建柱車による施工を検討。

平成 20 年 4 月 ボーリング箇所において蓮の実採取 4 月 5、6 日を予定。

平成 20 年 春 蓮の栽培箇所の特定及び開花に向けて育成栽培する。

平成 21 年 夏 開花（400 年前の誰かが知らない花と対面できるか）予定。

平成 22 年 春 特定された場所に、宇都宮の花文化として蓮池を具現化する。

## 掘削までのプロセス

### ◆ 平成 19 年

- ・ 1 月 : 蓮池跡で掘削可能な場所を求め幾度も蓮池周辺を踏査し、地権者から理解をいただいた。
- ・ 3 月 31 日：栃木県地質調査業協会のご協力をいただき公開のボーリング調査とシンポジウムの開催。
- ・ 7 月 19 日：先のボーリングの試料から松井教授により蓮の花粉が検出され、蓮の存在が確認できた。
- ・ 11 月 9 日：塚田副会長・印南事務局長が掘削について宇都宮建設業青年の会と工法等について協議。

### ◆ 平成 20 年

- ・ 2 月 25 日：小林・印南が野澤宇建協青年の会長等・佐藤栃木県地質業会長・外園補償コン副会長と協議の結果、施工法について安全・工事費等から建柱車による施工法を検討することになった。一方、将来の担い手の子供達をどう取り込むかについても検討が必要とされた。同日、早速東京電力と連絡をとり、3 月 3 日に東京電力にて協議することになった。
- ・ 3 月 3 日：石川会長・松居教授・印南が東京電力宇都宮支社にて相原副支社長・鷹觜総務課長・関電工の伊澤主任で、去る 25 日の協議内容を報告し、第 3 回の協議をする。安全・工事費等から建柱車による施工の協力を依頼し、快諾をいただき、施工を 4 月 5、6 日に予定する。
- ・ 3 月 6 日：塚田副会長宅で役員会を開催し、これまでの経過と今後の方針を協議し、承認された。
- ・ 3 月 12 日：これまでの経過と施工法等について地権者に報告し掘削の理解をいただいた。
- ・ // : 栃木県・宇都宮市教育委員会あて埋蔵文化財発掘の届出を提出する。
- ・ // : 宇都宮建設業青年の会・東京電力・関電工・補償コンサルタント協会へ依頼文書の提出。
- ・ 3 月 17 日：宇都宮大学教育学部及び農学部からこの活動に係る研究についての協力を確認する。
- ・ 3 月 25 日：近隣の学校長へ発掘見学会の案内を通知する（池底のもう一つのロマンを求めて）。



鶯 古庭に  
啼きぬ  
日もす  
蕪が  
村ら



軸装された蕪村句碑の拓本



採拓に協力いただいた方々



発起人の増渕さんが蓮池周辺をグライダーで空撮

### 宇都宮城跡蓮池再生検討委員会のご案内

宇都宮市では市制110周年記念事業として、宇都宮城の一部復元工事が平成19年3月に完成しました。城に係る絵図には蓮池門、上蓮池、下蓮池などが記載されていたことから、世界の人々が感動した「大賀蓮」のロマンを共有するように、江戸期の人々が愛でた蓮の花を、平成の市民が蓮池から蓮の実を発掘し、宇都宮の花の文化として蓮池を再生する「宮のまち 江戸期の蓮 夢追いプロジェクト」を展開しています。

平成19年3月31日、上蓮池跡のボーリング調査の「堆積土中」から7月、宇都宮大学の松居誠一郎教授は蓮の花粉を特定することができました。なお、当会ではこの趣旨に賛同される会員を募っています。

会費：個人会員 年会費1口：1千円から、賛助会員 年会費1口：1万円から

振替口座番号：00160-2-742086 宇都宮城跡蓮池再生検討委員会 お問合せは下記本部・事務局へ

**本部** 〒320-0023 宇都宮市仲町2-17 (塚田方) 電話：028-622-5879 FAX：028-627-0269

**事務局** 〒321-0901 宇都宮市平出町3630-3 (印南方) 電話：028-663-1313 FAX：同 左

発起人：石川速夫（元栃木県立宇都宮東高校長）・小林幸正（元宇都宮市立旭中学校長）・志賀かう子（エッセイスト）・塚田宗雄（元宇都宮市教育委員長）・富祐次（栃木県立博物館友の会長）・増渕茂泰（前宇都宮市立中央小学校長）・松居誠一郎（宇都宮大学教授）・谷島利康（元宇都宮市立一条中学校長）・印南洋造（蓮文化研究会理事）

役員 会長：石川速夫・副会長：塚田宗雄・事務局長：印南洋造・会計：又木鉄心・監査：増渕茂泰

### 事務局から

タイトル左のマークは、上・下蓮池の位置図を容器と見立て、そこに咲く蓮をイメージしております。まだ花の色は分らない今日、皆様のご協力により蓮の実を見つけ出し、花を咲かせ、蓮の花に着色を施し宇都宮の蓮として保存したいと考えております。なお、この「蓮池の夢通信」では会の連絡や会員相互のご理解が深まるような紙面づくりを考えております。つきましては、お気付きの点がありましたら事務局までお知らせいただければ、紙面に回答または他の会員との意見交換の場となれるよう考えております。

※なお、この印刷物は(株)松井ピテオ印刷のご協力をいただきました。